



# おおさか

会報 第14号 2005年 The Friendship Force of Osaka

## みんなの力で成功！ 日本大会終わる

テーマは、「原点に返って考えよう、FFの活動」



2005年3月26日(土)、JR尼崎駅前のホテル、ホップイン・アミニングにて、第19回日本大会が開催されました。参加者は144名、日本の24クラブすべてから、こんなにも大勢の方々に来ていただきました。代表者会議、3つの分科会(受け入れ、渡航、広報)では、活発、かつ和やかに話し合いが行われ、実りあるものになりました。夕方からのパーティは、食事をいただきながら、多くの方々と交流ができ、みなさまとても楽しそうに歓談しておられました。「大阪らしい」「有意義だった」との感想もいただきました。1年以上前から、会場探しを始めとして、細部まで検討し、準備してきたことが、実を結んだわけです。大阪クラブのパワーを、ここぞとばかり発揮できました。来年の日本大会は、さくらんぼの季節6月に山形で開催されます。みんなで参加しましょう。

## 第19回日本大会代表者会議・報告



3月26日10時より、代表者会議が開かれました。24クラブの代表に事務局から石井嗣代さん、ウェブマスターの佐々木和彦氏、FFIよりデビー・パウエルさんが参加して、議長（大阪クラブ会長）の進行によって、昼食、休憩を挟みながら、午後3時まで続けました。昨年とは打って変わって、終始和やかなムードで話し合いが進み次のようなことが決まりました。

1. ウェブサイト担当の佐々木氏がまったくの無報酬で活動されているので、管理費から佐々木氏のウェブサイトにかかわる経費を支出する。
2. 議案「全日本今後のあり方」のうち、昨年から審議未了で残された「日本の全クラブをひとつの組織として明文化するか、否か」では「ひとつの組織として明文化しない。即ち規約は作らない。」に決定。申し合わせとして、「日本には現在24のクラブが存在し、各々が自主性を持った活動、運営をする。何か全体としてまとめる必要のある問題が起こった時は日本大会引き受けクラブがまとめ役をする。少数意見もかんがみ、規約に関しては必要になったと思われる時に検討する。」ことになった。
3. 呼称については英文で正式に書くときは **The Friendship Force of Osaka**(各クラブ名)であるが、日本語の呼称については特に決めない。
4. 申し合わせとして、来年の大会から代表者会議の出席者は1クラブから1代表者、1議決権、他に1オブザーバーを認める。発言は代表者がする。
5. 2007年の日本大会引き受けクラブは未定です。11月20日の西日本ブロック会議で決定するそうです。
6. 西日本のフィールドレブは大分クラブの阿南福登（あなんふくと）さんに決定したことが発表された。  
(大阪クラブ会長 大下すみ子)

## 日本大会スケッチ

尼崎ホップインはこぢんまりとした会場でしたが、駅に隣接しているので便利でした。代表者会議では、議題に即して司会の大下さんが上手くリードされたので横道に逸れる事もなく進みました。発言者は少し片寄りましたが、一度も意見を言われなかったクラブは無かったように思いました。全体会議のための準備は、大阪クラブが総動員したので手際よく出来ました。この組織はみなさんが協力しないとなりたないと思いません。全体会議の司会進行はユーモアもあり和やかでした。（長谷部 純子）



8:30集合で、打ち合わせ。各自の仕事を確認。



3つの分科会では有意義な意見や情報の交換がありました。



FFIのデビーさんへ獨家優子委員より書の額をプレゼント。



案内は、到着した方々が、迷わず会場に入れるように、またホテル内で場所を探すときにも、さっとお手伝いできるように、気配りが必要な大切な仕事でした。暖かい日だったので、FF大阪の旗を持ち、駅構内や外の連絡橋などにも立つなど、花粉症は大丈夫だったのでしょうか。(四ノ宮 榆里)



私は、今まで日本大会には参加したことがありませんでした。その名前からして、ずいぶん堅苦しいのだろうと思っていたのです。でも、その考えがまちがっていたことに、すぐに気づきました。代表者会議の書記をさせていただいたのですが、和やかで、積極的で、そしてどの代表の方々も会の発展にとっても真摯に取り組んでおられるのに驚きました。日本に24クラブがあり、世界から日本へ、そして各クラブへと夫々がきちんと組織されているのですね。大下委員長の的確な誘導で、活発な意見交換が行われました。記録しながら代表の方々に感謝の気持ちでいっぱいでした。全体会で、各分科会の発表を聞き、どの分科会もいい話し合いだったことがよくわかりました。また、その発表をされた3人の方(吉村さん、加羅さん、朝倉さん)が、ユーモアを交えて発表されたので場が和みました。また、パーティも盛大



**全体会議。24クラブ144人。会場いっぱいでした。**

で、みなさん楽しまれていました。私がお会いして話した方々は、みんな初対面なのに、私たち大阪クラブ員の肩につけたりボンを見て、お礼を言ってくれました。うれしかったです。(宮城 和子)



**交流パーティでは、たくさん食べて、たくさんおしゃべり。量もたっぷりありました。満足!**

日本大会は、はじめての経験でしたがとても、楽しかったです。すべてスムーズに行ってよかった。分科会の司会もとてもよかったです。ユーモアがあり面白く、上手にまとめられて、さすがと思いました。たまたま、新潟クラブの方と同じテーブルになり色々とお話が出来ました。その方は、広いお宅に一人で住んでいるので、遊びに来て泊まってくださいと誘ってくれました。いつか行かせていただこうと思います。外国人との交流だけでなく日本人同志の交流もいいものです。どんどん、友達が増えていくのがうれしいです。いつか世界大会にも行きたいと夢をふくらませています。学生さんのバンドの、演奏も良かったです。(島林 由多子)



**みんなで輪になり、「世界は一つ」に合わせて手遊び。**

大阪クラブの皆様。日本大会の運営ありがとうございました。懇親会では私にとっての久々の（古い話、シャープス&フラッツ、東京キューバンボーイズ以来の）伊丹高校OBのビッグバンドの演奏は感激ものでした。個人的には、思うようなFF活動が出来難くなる昨今ですが、毎年一度は皆様と顔合わせに参加し、同級会のごとく友好を深めたい。これが私にとってのFF日本大会出席の意義です。来年は又山形でお会いしましょう。（郡山クラブ 村田英夫）



パーティのアトラクションで会員の森川愛さんの所属するプラスバンドがジャズを演奏してくれました。若者パワーで盛り上がりました。

.....



**申し込み受付中!**

### Let's try 英会話とテーブルセッティング

多田委員に正式なテーブルセッティングのデモンストレーションをしていただく予定です。テーブルを囲みながら、食に関連する表現を学びましょう。会員相互の親睦の場として、お気軽にご参加ください。

日 時 4月17日(日) 1:30~3:30  
 場 所 大下すみ子会長宅  
 川西市湯山台1-25-12  
 講 師 マイケル・グレイ氏(カナダ出身)  
 受講料 1000円  
 (ビジター 1500円)  
 申し込み 島林 由多子 (078-412-1026)  
 shimabaysahi@kcc.zaq.ne.jp  
 大下 すみ子 (072-793-4925)  
 ffosumiko@jttk.zaq.ne.jp

申し込まれた方には地図など詳細をお知らせします。

## 2005年 渡航 アメリカの2クラブと交換

期間 8月16日(火)~29日(月)  
 渡航先 第1週目 ウェスト・コロラド  
 第2週目 サンフランシスコ  
 費用 約26万円  
 交換委員長(E.D) 加羅博子委員

今年の特徴はいつもの7月末から8月に掛けての渡航ではなく、8月中旬に出発日を決めたことです。皆様のお手許に届く案内、および募集要項をご覧ください。

できるだけ多くの方が参加されて、すばらしい友情を得ることができると願っています。



#### 編集後記

1年以上かけて準備してきた日本大会は無事終わりました。当日はあっけなかったですね。次は24年後？私たちは老婆になってるう！今号は特集として急いで出しました。奮発してカラーです。次号にも参加者の感想を載せます。投稿をお待ちしています。S.O

編集・発行：ザ・フレンドシップ・フォース大阪クラブ

発行日：2005年4月10日 第14号

事務局：〒594-0013 和泉市鶴山台3-1-40

朝倉 隆夫 Tel&Fax0725-43-8331

takao-kiyomi@ican.zaq.ne.jp

編集人：TFF大阪クラブ 広報委員会